

CSD-Bs型作業台用手すり CSDT-Bs型 取扱説明書

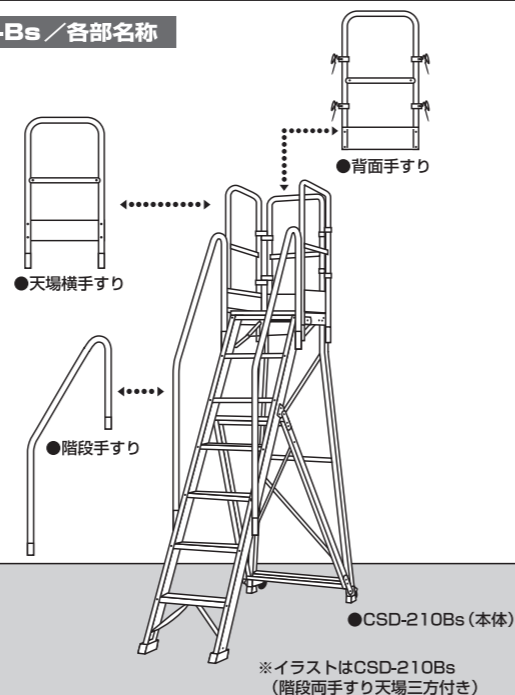


このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起らないよう、内容にしたがって正しくお使いください。また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せるところへ大切に保存してください。



- 手すりは、正しく使われていないと製品の破損や、転倒や転落による傷害事故の原因になります。
- この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

CSDT-Bs／各部名称



表示マークについて

取扱説明書に記載されている△マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから必ずお守りください。



危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。



警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険があることを示します。



注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れがあることを示します。

※破損したままで使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因になります。



禁止

このマークは禁止（してはいけないこと）を示します。



強制

このマークは強制（必ずすること）を示します。



〒569-8510 大阪府高槻市三島江1-1-1

お客様相談室 ☎ 0120-302-669

10:00～16:00 ただし12:00～13:00及び土・日・祝を除く

※この取扱説明書は、無断転用を禁じます。

P12.03

733230101971

安全のために 必ず守って いただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1 使用条件について



危険



禁止

手すりへ寄りかかったり、足を乗せて作業しないでください。

製品の破損や、身体のバランスをくずすことにより、転倒や転落の恐れがあります。

手すりは、作業者の身体を安定させるものです。



警告



禁止

手すりとしての用途以外の使いかたをしないでください。

この製品は、折りたたみ式作業台CSD-Bs型用に作られた「手すり」です。

使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。



警告



禁止

手すりを加工や改造しないでください。

重大な事故を起こす恐れがあります。



警告



禁止

お子様や、取扱説明書の内容が理解できない人には、使わせないでください。

取扱説明書には安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと、重大な事故につながる恐れがあります。



注意



強制

この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸し出してください。

取扱説明書には安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解のうえ、使うように指導してください。

2 ご使用になる前に



警告



強制

使う前には、必ず「ご使用前の点検」を行い、異常のないことを確認してください。

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。



警告



禁止

変形した手すりを使わないでください。

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。したがって、変形した製品を修理して使用すると、容易に折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になります。

3 運ぶときは



危険



強制

持ち運ぶときは、配電線や電源コードなどに引っ掛けないように注意してください。

この製品は電気を通しますので、注意してください。



注意



禁止

持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。

乱暴に扱うと、変形やへこみ、破損の原因になります。

4 手すりを設置するとき



警告



強制

すべてのロック金具、ロックピンを確実に掛け、手すりが外れないことを確認してください。

ロック金具やロックピンの掛りが不十分で使うと、手すりが外れてしまい、製品の破損や、転落事故の恐れがあります。



警告



強制

手すりを設置するとき、手をはさまないように注意してください。

けがをする恐れがあります。

ご使用前の点検

手すりをお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

1 目で見て、下記の点検をしてください。

- 1.手すりにグリース・油・泥・雪・水・ベンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭き取ってください。
- 2.手すりに曲がり・ねじれ・へこみがありませんか。ある場合は絶対に使わないで、廃棄してください。
- 3.各部の接合部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。また、取付部品の破損・脱落・変形・磨耗・いちじるしい腐食がありませんか。ある場合は絶対に使わないで、廃棄してください。
- 4.リベット・ねじなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。ある場合は絶対に使わないで、廃棄してください。
- 5.ロック金具やロックピンに変形や抜け落ちがありませんか。ある場合は絶対に使わないでください。必ずご購入の販売店までご相談いただき、新しい部品と交換してください。

2 手すりを取り付けて、下記の点検をしてください。

- 1.手すりが確実にソケットに挿入できますか。できないときは絶対に使わないで廃棄してください。
- 2.ロック金具やロックピンが確実に掛けられ、ロックできますか。できないときは絶対に使わないで廃棄してください。

安全のために必ず守っていただきたいこと

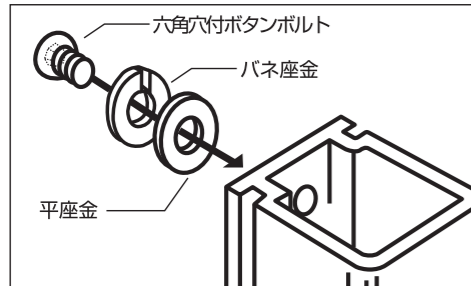


手すりの使いかた

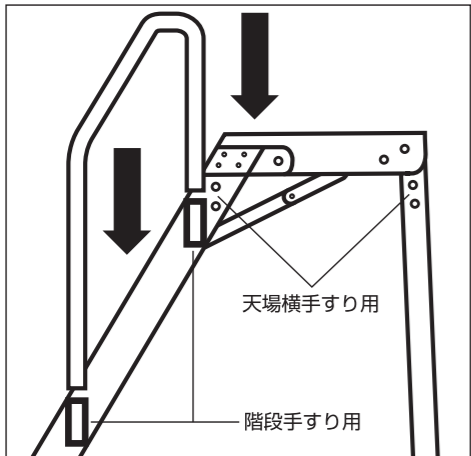
作業台本体の取り付け箇所のキャップは先に取り外しておいてください。

1 階段手すりの取り付けかた

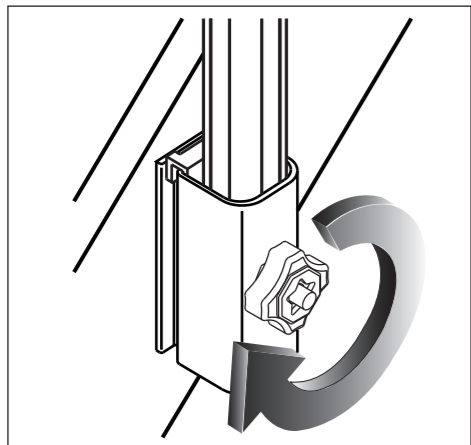
1. ソケットを作業台の階段側面に添付の六角穴付きボルトと平座金・バネ座金で仮止めしてください。



2. 階段手すりをソケットに差し込んでください。このとき、手すりが確実に挿入できるように、ソケットの位置を調整してください。

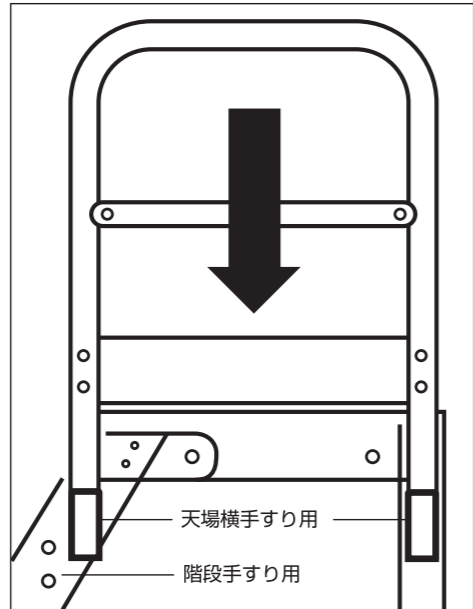


3. ソケットの位置が決まりましたら、ボルトを確実に締めつけてください。
4. すべてのボルト・ナットが確実に締まっていることを確認後、階段手すりを取り付け、ノブが確実に締まるか確認してください。



2 天場横手すりの取り付けかた

1. ソケットを作業台の階段側面と、背面側面に、添付の六角穴付きボルトと平座金・バネ座金で仮止めしてください。
2. 天場横手すりをソケットに差し込んでください。このとき、天場横手すりが確実に挿入できるように、ソケットの位置を調整してください。



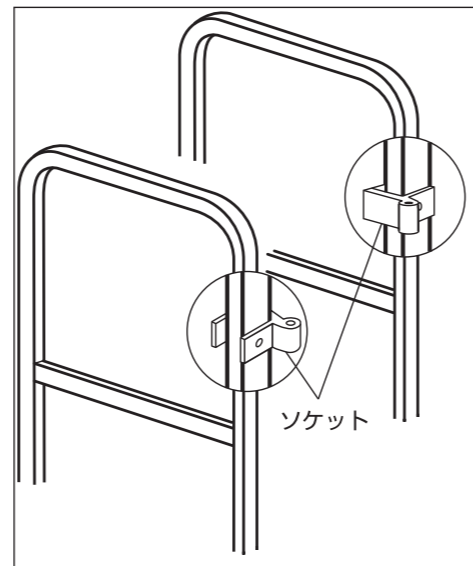
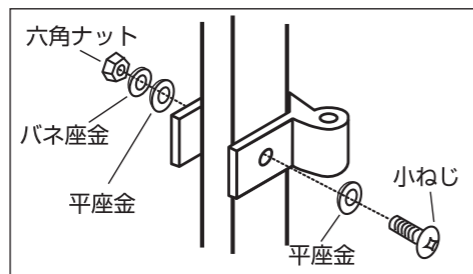
3. ソケットの位置がきまりましたら、ボルトを確実に締めつけてください。
4. すべてのボルト、ナットが確実に締まっていることを確認後、天場横手すりを取り付け、ノブが確実に締まるか確認してください。

3 背面手すりの取り付けかた

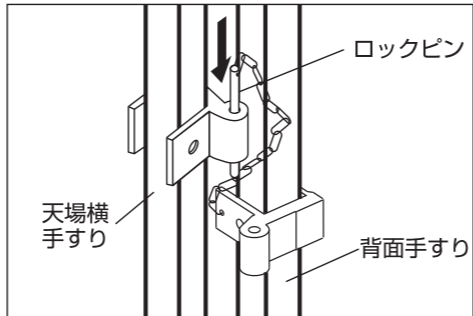
- ⚠ 注意** 背面手すりを取り付けるときは、必ず作業台の両側に天場横手すりを取り付けてください。

天場横手すりを片側にしか取り付けずに背面手すりを取り付けますと、製品の変形や破損の原因になります。

1. ソケットを、天場横手すりに、添付の小ねじと、平座金・バネ座金・六角ナットで4個とも確実に取り付けてください。このとき、ソケットの向きを間違えないように注意してください。



2. すべてのねじ、ボルトが確実に締まっていることを確認後、背面手すりを取り付け、ロックピンが4本とも確実に挿入できることを確認してください。



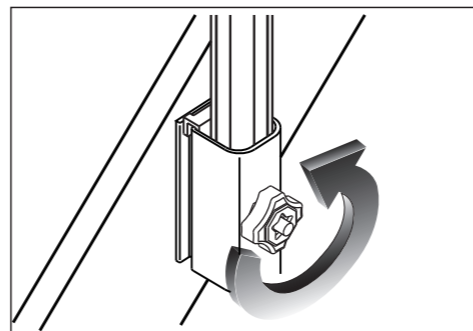
4 手すりの取り外しかた

- ⚠ 注意** 作業台を折りたたむときは、必ずすべての手すりを取り外してから、折りたたんでください。

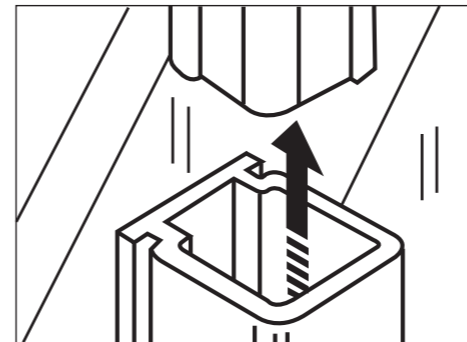
手すりを取り付けたまま、作業台を折りたたむことはできません。手すりを取り付けたまま作業台を無理に折りたたむと、製品の破損や変形の原因となります。ただし、ソケットを取り外す必要はありません。

階段手すり・天場横手すりの取り外しかた

1. ソケットのノブを緩めてください。

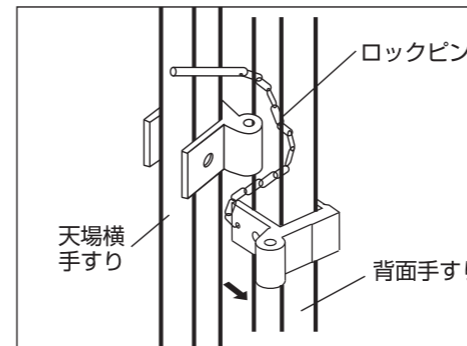


2. すべてのノブが緩んでいる事を確認後、手すりを静かに真上に持ち上げて取り外してください。



背面手すりの取り外しかた

1. 背面手すりを持ちながら、ロックピンを4本とも静かに抜いてください。



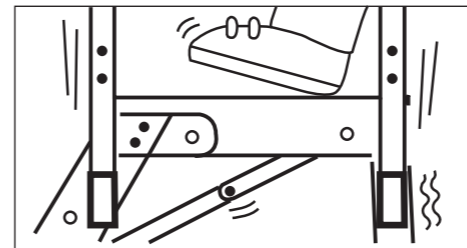
2. 背面手すりを取り外してください。

5 外した手すりを取り付けるとき

「4. 手すりの取り外しかた」の逆の手順で取り付けてください。

- ⚠ 警告** 取り付けた手すりはノブまたは、ロックピンで確実にロックしてください。

ロックせずに使用すると、手すりが外れてしまい、製品の破損や、転落による事故の恐れがあります。



使用後のお手入れと保管のしかた

1. お手入れのしかた

手すりによって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

<掃除のしかた>

1. 汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。
2. 汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
3. 油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

- ⚠ 注意** クリーナーや洗剤を付けたままにしていると腐食の原因になります。

2. 保管のしかた

1. 雨や直射日光の当たらない、風通しのよい乾燥した場所を選んで保管してください。雨や直射日光が当たると、各部の腐食や劣化により、強度低下の原因になります。
2. 手すりが濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

- ⚠ 注意** 保管中は製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。

- ⚠ 注意** 農薬やセメント・石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。

故障かな？と思ったら（不調診断）

<現象>

- 使ったときに、ギシギシ鳴る。
- 使ったときに、グラグラする。

点検する場所	処置のしかた
手すりに、ゆるみやガタツキ、変形がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

<現象>

- 手すりの支柱が垂直・水平にならない。
- ノブが確実に締まらない。
- ロックピンを挿入できない。

点検する場所	処置のしかた
手すりに、ゆるみやガタツキ、変形がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
袋詰め部品やロックピンに変形や、脱落がありませんか。	ある場合は、使わないでください。必ずご購入の販売店まで相談いただき、新しい部品と交換してください。

- ⚠ 警告** 製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。

一度変形した本体や部品は、いちじるしく強度が落ちており、手直ししても本体や金具が破損し、転倒や転落による人身事故の原因につながります。